



知事が行く!  
突撃取材! Part2  
～三重のひと～

第21回

～菰野町田口区の挑戦～

# 獣害につよい 地域をめざして

## インタビュー詳細版

(お話いただいた方)

菰野町田口区 区長

すずき とみお  
鈴木 寶王さん

(聞き手)

三重県知事

鈴木 英敬



すずき とみお  
鈴木 寶王さん

知事：鈴木さんにお聞きします。平成23年から地域をあげて獣害対策に打ち込まれていますが、対策を始めたきっかけを教えてください。

鈴木：5年、10年前から獣<sup>けもの</sup>の被害が出て困っていました。きっかけとなったのが、88歳のおばあさんが孫のために一生懸命作られていたエンドウを一日で全部、サルに奪われてしまったと畑の隅で泣いている姿を見かけたんですね。

知事：それは悲しいことですね。

鈴木：このままでは駄目だ、何とかしようと、平成23年4月に地区の住民や町役場に相談し、県の方に指導に来ていただきました。まずは田口公会所で勉強会を開いたところ、全96軒のうち40軒以上の世帯の方々が、夜にも関わらず参加していただきました。みんな獣害に苦労しているんだと実感しました。

勉強会では獣害について基礎的なことを学び、それが今の活動の基礎になっています。また、全世帯へのアンケートを実施したところ、サルの被害が特に増えていることが分かりました。

知事：平成23年度の野生獣による農作物への被害状況と回数に関するアンケートを拝見すると、サルの被害が「非常に増えた」という家庭が46軒と一番多くなっていますね。サルの目撃回数に関しては1人当たり年間48.6回と、すごく多いですね。



活動するメンバーの皆さんを紹介していただきました。

**鈴木：**はい。この結果を地図上に落とし込んでみると、ほとんどの地域に出没していることが分かりました。こうした結果を見て、いろんな獣害対策をしようという意見が出たんですが、まずは集中してサルを追い払うことを決めました。皆さんに参加していただきまして、サルを追い出す「猿鉄砲」づくりを行い、50個を作りました。区内の2軒に1個、配布したことになります。

**知事：**なるほど。猿鉄砲とは、どんなものですか。

**鈴木：**ペットボトルの中にロケット花火を入れて飛ばします。これを撃つと、地区中に大きな音が響き渡るの

で、地区の北の方で誰かがサルを追っていると、中央や南の地区の人が「今日は北でサルが出ているから気をつけよう。こっちの方に来たら追っ払おう」という情報が伝わり、連携することができました。

また猿鉄砲で追い払うほか、サルを減らそうと捕獲も実施しました。趣味で猟をやっている地元の方に依頼し、サルを見かけると連絡して捕獲してもらっています。その結果、年々サルが出て来なくなり捕獲数が減りました。

**知事：**平成23年から26年までの間に、グンと減っていますね。サルも、「これはあかん。捕まるわ」ということで出てこなくなったんですね。

**鈴木：**以前は柿がサルに食われて全滅していましたが、ここ2年ほどは、収穫して食べることができました。このような活動の成果により、昨年の獣害フォーラムで知事から「獣害につよい地域づくり」の表彰状をいただきました。これをひとつの励みに、これからも頑張っていきたいと思います。

**知事：**ありがとうございます。田口区の取り組みは三重県内のモデルになっていますので、これからもよろしくをお願いします。さて、活動を始めて、皆さんの意識にどのような変化があったとお感じでしょうか。

**鈴木：**獣害対策を通じて地域の方々のつながりが深まり、地域のことについて関心を持ったり、時間を有効活用したりするという意識が出てきたと思います。

**知事：**皆さんで同じことに関心を持ち合うことは素晴らしい意識の変化ですね。そういうことが防災や防犯、高齢者や子どもの見守りにも、つながっていきますね。素晴らしいことです。この田口区で実践しておられる事例を踏まえて、獣害に強い地域を築いていくために大切なことは何だとお考えでしょうか。

**鈴木：**粘り強く活動することです。平成23年に取り組み始めた時に、この活動は半年や1年、2年で終わることはないだろうと話していました。獣害対策は、ずっと長く続くので地道に、そして問題点が出てく



猿鉄砲は、区内の過半数の家に配布できる50個を作成。地域をあげて熱心に取り組まれていたことがよく分かりました。



耕作放棄地を活用した“コスモス畑”。毎年10月に祭を開催。



れば、みんなで考えて一歩ずつ解決していこうと話し合っ取り組んできました。

**知事：**なるほど、獣害対策にホームランはないんですよね。一回、これだけやれば全部OKというのではなく、みんなでヒットをつなげていくことが大事なんです。それでは、粘り強く続けていくために、どのような意識づけや取り組みが必要だと思いますか。

**鈴木：**みんなに関心を持ってもらい、活動を続けてもらうことです。そして、やはり仲間づくりが大切だと思います。

**知事：**粘り強く取り組みを進めていくために、区長として心がけていることは何でしょうか。

**鈴木：**皆さんが率先して実践していただいていますので、私は連絡をする役割を担っています。

**知事：**みんなにしっかり連絡をするということですね。そういう風にこまめに実行していくことが一番大切ですね。ありがとうございます。それでは最後の質問です。今後、新たに挑戦したいことを教えていただけますか。

**鈴木：**そうですね。サルについては成果が表れましたので、次はイノシシやシカの対策に取り組んでいきたいと考えています。イノシシやシカは夜間に集落へ出てきて、しかも大型獣になりますので、なかなか我々だけでは対応しにくいのですが、地元の猟師さんや、町、県の指導を得て対策していきたいと思っています。また、人生経験豊かな年配の方々が昼間は地域を見守っていただいていますので、皆さんの知恵も生かしながら獣害対策に取り組むとともに、獣害対策を通じて地域の子もたちとの交流も進めていきたいと考えています。

**知事：**みんなで一緒に取り組んでいこうということですね。今日はありがとうございました。

**鈴木：**どうもありがとうございます。



地域の皆さんで、サルなどの侵入を防ぐ防護柵を設置。



耕作放棄地で採れたもち米を使った子どもたちとの餅つき大会。



※インタビューの内容は、読みやすさの観点から一部要約等を行っています。  
※記載内容、写真の無断転載を禁じます。  
※内容に関するご意見・お問い合わせは、三重県戦略企画部広聴広報課まで

〒514-8570三重県津市広明町13  
☎ 059・224・2788 FAX 059・224・2032  
E-mail koho@pref.mie.jp